

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名	一般国道166号 <small>たびき</small> 田引バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	白：三重県松阪市飯高町地の添 至：三重県松阪市飯高町田引	延長	5.0km		
事業概要 一般国道166号は、大阪府羽曳野市を起点とし、三重県松阪市に至る延長約114kmの幹線道路です。田引バイパスは、現国道166号の幅員狭小の未改良区間を解消し、安全で円滑な交通を確保を目的とした、延長5.0km、2車線道路の計画です。					
H6年度事業化	都市計画決定 なし	H6年度用地着手	H6年度工事着手		
全体事業費	77億円	事業進捗率	85%	供用済延長	3.1km
計画交通量	3,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用：(残事業)/事業全体 14 / 94 億円		総便益：(残事業)/事業全体 143 / 143 億円	
	(残事業)	事業費：9.9/90 億円 維持管理費：4.3/4.3億円		基準年：平成20年 走行時間短縮便益：141 / 141億円 走行経費減少便益：2.9 / 2.9億円 交通事故減少便益：-1.3 / -1.3億円	
事業の効果等 ・地域ネットワークの構築…大型車すれ違い困難区間の解消 ・安全で安心できるくらしの確保…二次医療施設へのアクセス向上 他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見 一般国道166号整備促進期成同盟会が結成されており、当該事業の早期完成を強く要望（H20.9）されています。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成17年1月1日に、松阪市・嬉野町・三雲町・飯南町・飯高町の5市町が合併し、新「松阪市」が発足しました。また、平成16年3月24日には、直轄事業として、高見峠事業の18.1kmが全区間完成供用され、関西圏との更なる交流促進も期待されています。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに85%の進捗が図られており、田引工区は用地取得が完了しています。残事業は、延長1.9/5.0km、橋梁3/8基となっています。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年度までに3.1kmが供用されており、平成21年度中には更に0.8kmの供用を開始し、田引工区の全区間供用を予定しています。平成20年代半ばの全線供用に向け事業を推進してまいります。					
施設の構造や工法の変更等 地域の実情にあった道路構造を採用し、工事未着手区間において歩道の幅員の見直しを行い、約2億円のコスト縮減を図りました。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられます。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。